

2026年3月期 月次速報

※本資料の数値は、POS売上・受注等に基づく速報値です。実際の決算数値とは異なりますのでご了承ください。

1. 月次前年比

(%)

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
デンキセグメント	99.8	106.3		103.1					103.1										103.1
住建セグメント	109.3	124.6		116.6					116.6										116.6
金融セグメント	107.7	99.2		103.3					103.3										103.3
環境セグメント	112.3	107.5		109.8					109.8										109.8

※以下、速報値を使用しており、決算数値とは異なります。

- ・デンキセグメント：POS売上高
- ・住建セグメント：受注・売上高（※住宅販売等は受注高、その他の住設機器販売・施工等は売上高を合算した数値です。）
- ・金融セグメント：売上高
- ・環境セグメント：売上高

2. 概況

- ・デンキセグメント：5月度は、前年と比べ土曜日が1日多い暦の影響がありました。売場面積に関しては、Tecc LIFE SELECT 茨木目垣店のオープン等により着実に伸長しています。（4-5月累計実績：出店数5（前期2）、売場面積増減 18,062㎡（前期3,273㎡））
なお店舗数に関しては、前年度において45店舗の退店・店舗統廃合を実施した影響で、前年同月対比で減少しております。（5月時点 店舗数：952店（前期971店））
当月の家電販売において、エアコン・パソコン・携帯電話が大きく伸長し、全体をけん引した結果、前期を上回る実績となりました。
- ・住建セグメント：販売施策の強化や商品提案力の向上等により、注文住宅の受注が特に好調に推移し、前期を大きく上回る結果となりました。
- ・金融セグメント：NEOBANK住宅ローン及びヤマダデンキのリフォーム事業と連携したリビングローンが好調に推移しましたが、「フラット35」が市場環境の変化などの構造的な要因により売上が低迷し、前期を下回る結果となりました。
- ・環境セグメント：リユース事業や家電リサイクルの収集運搬及びPC製造事業が好調に推移し、前期を上回る結果となりました。

3. 直営の店舗数推移及び売場面積

今期実績（前年）	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
新 店	4（1）	1（1）		5（2）					5（2）										5（2）
退 店	1（2）	1（4）		2（6）					2（6）										2（6）
改 装	0（2）	1（4）		1（6）					1（6）										1（6）
店舗数	952	952		952					952										952
売場面積（㎡）	2,883,053	2,890,880		2,890,880					2,890,880										2,890,880
面積増減（㎡） （前年同月対比）	31,102	39,407		39,407					39,407										39,407
面積増減（％） （前年同月対比）	101.1％	101.4％		101.4％					101.4％										101.4％

面積増減（前年度末対比）

今期実績（㎡ / ⅲ）	10,235 (100.4ⅲ)	18,062 (100.6ⅲ)		18,062 (100.6ⅲ)					18,062 (100.6ⅲ)										18,062 (100.6ⅲ)
前期実績（㎡ / ⅲ）	3,751 (100.1ⅲ)	3,273 (100.1ⅲ)		3,273 (100.1ⅲ)					3,273 (100.1ⅲ)										3,273 (100.1ⅲ)

※店舗数及び売場面積は、いずれも月末時点の数値です。

※売場面積は、新店のほか店舗改装等により変動する場合があります。

※退店の増加は、LIFE SELECTをコア店舗としたS&Bによる退店です。売場面積増に向けた店舗開発は計画通り進捗しております。

※改装は、業態変更を伴う店舗改装実績の数値です。